

私の給料

動画URL : https://youtu.be/_SGJ805IGcA

この動画は、前半は敬語または丁寧語で、漢字には「ふりがな」があります。後半は話し言葉（友だち言葉／タメ語）になり、漢字に「ふりがな」はありません。学習にお役立てください。今回は「私の給料」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

みなさん、はじめまして。
私の名前は山田咲（やまださき）です。
私は今29歳です。
東京に1人で住んでいます。
今日は私の給料についてお話しします。

■私の給料と年収

私の給料は1ヶ月23万円くらいです。
1年間だと276万円ですが、ボーナスや手当など合わせると、だいたい330万円くらいになります。これを給与や年収といいます。
これは私の年齢では平均的な給与です。

■給料と給与

給料と給与という言葉はとても似ています。
でも、少し意味が違います。
給料は1ヶ月にもらうお金のことです。
一方、給与というのは1年間に会社からもらうすべてのお金のことです。
ボーナスや手当、交通費なども全部含まれています。
つまり、給料は給与に含まれているということです。
給料は1ヶ月にもらうお金で、給与や年収というのは1年間にもらうお金のこと。給与と年収というのはほとんど同じ意味です。覚えておいてくださいね。

■給料について

給料には、まず、基本給というものがあります。
基本給というのは、仕事の基本的な部分に対してもらうお金のことです。
これに加えて、手当やボーナスもあります。手当というのは、特定の条件で追加でもらうお金のことです。
ボーナスというのは、会社がたくさんお金を稼いだときに特別にもらえるお金のことです。
また、日本では、給料の一部が税金や保険料として引かれます。税金というのは、国や地方にお金を払うことです。保険料というのは、病気やケガをしたときに助けてもらうためのお金です。これらを引いた残りが、私の銀行の口座に入ってきます。
ちなみに、私の給料は1ヶ月230,000円くらいですが、税金や保険などを引かれて私の銀行に入るお金は180,000円くらいです。これを「手取り金額」といいます。
給料をもらうとき、給料明細書というものをもらいます。
これには何のお金が引かれているのか、口座に振り込まれる金額などが書かれています。
給料のしくみを知っておくことで、自分のお金の使い方や貯金の計画が立てやすくなります。

■給料の使い道

給料をもらったら、どのように使うかを考えることが大切です。日本で生活するためには、さまざまなお金がかかります。たとえば、私は東京でひとり暮らしをしているので、家賃や食事代、光熱費などにお金を使っています。ここでは、私の給料がどのように使われるのか、いくつかの項目について説明したいと思います。

まず、家賃です。家賃というのは、住むための家を借りるお金のことです。私の家の家賃は68,000円です。

次に、食事代です。

食事代というのは、食べ物や飲み物を買うためのお金です。私は、スーパーで野菜や肉、魚を買って自分で食事を作ることが多いです。理由はそのほうがお金をたくさん使わなくていいからです。

けど、会社の人や友だちとたまに食事したりカフェに行ったりして外食もします。

1ヶ月の私の食事代は50,000円くらいです。

生活をするためには光熱費も必要です。光熱費というのは、電気やガス、水道などを使うためのお金です。これらの費用は、生活に欠かせないものです。

1ヶ月の電気代は8,000円くらいです。

夏はとても暑くて、冬はとても寒いです。

そのため、夏と冬はエアコンをたくさん使うので、そういうときは12,000円くらいになることもあります。

ガス代は6,000円くらいです。

水道代は電気やガスより安くて4,000円くらいです。

つまり、光熱費は1ヶ月で18,000円くらいです。

スマホの通信料も毎月かかります。

けど、私のスマホのSIMはとても安いので1ヶ月1,500円くらいしかかかりません。

その他、私は毎月両親にお金を送っています。

いつもは20,000円を送っていますが、自分の生活にどうしてもお金が必要なときもあって、そういうときは15,000円になるときもあります。

母親は送らなくていいと言いますが、私は両親への感謝の気持ちとして必ず送るようにしています。

ちなみに、家族にお金を送ることを仕送りといいます。

家賃、食事代、光熱費、スマホの通信料、仕送りなど、これらを合わせると1ヶ月に157,500円です。

私の手取りは180,000円くらいなので、残るお金は22,500円です。

ただ、この他にもシャンプーや石けん、トイレットペーパー、ティッシュ、食器を洗うときに使う洗剤や洗濯するときに使う洗剤など、生活に必要なものを買うとお金はほとんど残りません。

ちなみに、生活に必要なものはダイソーで買うことが多いです。

給料以外に、夏と冬にはそれぞれ1.5ヶ月分（345,000円くらい）のボーナスが出ます。ボーナスのおかげで少しだけ余裕をもった生活ができます。けど、ボーナスはもらえない年もあるので、私はできるだけボーナスは大事に貯金するようにしています。

■日本における金銭感覚

日本では、お金の使い方や考え方が他の国と少し違うことがあります。これを「金銭感覚」と言います。金銭感覚というのは、お金に対する考え方や使い方のことです。ここでは、日本人の一般的な金銭感覚についてお話しします。

まず、日本人は給料をもらったら、生活に必要なものにお金を使い、それ以外はできるだけ貯金する人が多いです。貯金というのは、将来のためにお金を貯めておくことです。日本では、将来に備えて少しでもお金を残しておこうとする考え方が強いです。

また、日本では物を大切に使う文化があります。たとえば、新しいものを買う前に、今持っているものをできるだけ長く使おうとすることが多いです。これは、無駄なお金を使わないようにするためでもあります。

さらに、日本ではお金を借りることをあまり良いこととは考えない人が多いです。たとえば、クレジットカードで買い物をするときでも、借金をするのではなく、できるだけその場でお金を支払うことを好む人が多いです。借金というのは、あとで返さなければならないお金を借りることです。

私も、給料をもらったらまず必要なものにお金を使い、余ったお金はできるだけ貯金するようにしています。そして、買い物をするときには、本当に必要なものだけを買うようにしています。これは、日本人の多くが持っている金銭感覚です。

このように、日本で生活するためには、日本人の金銭感覚を理解しておくことが大切です。

「私の給料」は、いかがでしたか？

今後の動画制作に活かしますので、感想を是非コメント欄から教えてください。

前半、お疲れ様でした。

前半は丁寧な言葉で読み上げましたが、ここから先の後半は家族や親しい友人と話すときのような「話し言葉」で読み上げます。

話し言葉は「友だち言葉」や「タメ語」などと呼ばれることもあります。それでは後半スタートです。

はじめまして。

私の名前は山田咲（やまださき）だよ。

私は今29歳。

東京でひとり暮らししてる。

今日は私の給料について話すね。

■私の給料と年収

私の給料は1ヶ月23万円くらい。

1年間だと276万円だけど、ボーナスとか手当とかを合わせると、だいたい330万円くらいかなあ。これを給与とか年収って言うよ。

私の年齢では、まあ、平均的な給与だと思う！

■給料と給与

給料と給与って言葉はすごい似てるよね。

でも、少し意味が違うんだ。

給料っていうのは、1ヶ月にもらうお金のことね。

給与っていうのは、1年間に会社からもらう全部のお金のこと。

ボーナスとか手当、交通費とかも入ってるんだよね。

つまり、給料は給与に含まれてるってことなんだよね。

給料は1ヶ月にもらうお金で、給与とか年取っていうのは1年間にもらうお金のこと。給与と年取というのはほとんど同じ意味だね。覚えておいてね。

■給料について

給料には、まず、基本給っていうものがあるよ。

基本給っていうのは、仕事の基本的な部分に対してもらうお金のことね。

これに加えて、手当とかボーナスっていうのがある。手当っていうのは、特定の条件で追加でもらうお金のこと。

ボーナスっていうのは、会社がたくさんお金を稼いだときに特別にもらえるお金のことね。

あと、日本では、給料の一部が税金とか保険料として引かれるんだよね。税金っていうのは、国とか地方にお金を払うこと。保険料っていうのは、病気とかケガをしたときに助けてもらうためのお金みたいなもんかな。こういうのを引いた残りが、私の銀行の口座に入ってくるってわけ。

ちなみに、私の給料は1ヶ月230,000円くらいだけど、税金とか保険とかを引かれて私の銀行に入るお金は180,000円くらい。これを「手取り金額」って呼んだりするよ！

給料をもらうときって、給料明細書っていうのをもらうんだよね。

これには何のお金が引かれているのかとか、口座に振り込まれる金額はいくらですみたいなことが書かれてるの。

給料のしくみを知っておくと、自分のお金の使い方とか貯金の計画が立てやすくなるじゃん。

■給料の使い道

給料をもらったら、どんな感じに使うかを考えることが大切だよ。

日本で生活するためには、マジでいるんなお金がかかるんだよね。たとえば、私は東京でひとり暮らしをしてるから、家賃とか食事代、光熱費とかのお金は毎月出ていく。

私の給料がどんな感じで使われるのか、ざっくり説明するね！

まず、家賃だよ。家賃っていうのは、住むための家を借りるお金のこと。私の家の家賃は68,000円。

次に、食事代。

食事代っていうのは、食べ物とか飲み物を買うためのお金ね。私は、スーパーで野菜とか肉、魚を買って自分で食事を作ることが多いかなあ。まあ、そのほうが安く済むしね。

けど、会社の人とか友だちとたまには食事したりカフェに行ったりして外食もしちゃうわけ。

そんな感じで、1ヶ月の私の食事代は、まあ、50,000円くらいってとこ。

生活をするためには光熱費も必要だよ。光熱費っていうのは、電気とかガス、水道とかを使うためのお金のことね。こういう費用は、生活に欠かせないからね。

1ヶ月の電気代は8,000円くらいかなあ。

夏はめちゃくちゃ暑くて、冬はめちゃくちゃ寒いじゃん。

だから、夏と冬はエアコンがフル稼働って感じで、そういうときは12,000円とかいっちゃうよね。

ガス代は6,000円くらいかな。

水道代は電気とかガスより安くて4,000円くらい。

まあ、要は、1ヶ月の光熱費の合計は18,000円くらいってことだよな。

スマホの通信料も毎月かかるんだよねー。

けど、私のスマホは格安SIMだから1ヶ月1,500円くらいしかかからないかな。

他には、私は毎月両親にお金を送ってるんだよね。

いつもは20,000円を送ってるけど、自分の生活にどうしても余裕がないときもあって、そういうときは15,000円になったりするときもある。

母親は送らなくていいって言うけど、私は両親への感謝の気持ちとして必ず送るようにしてるんだよね。

ちなみに、家族にお金を送ることを「仕送り」って言うよ。

家賃、食事代、光熱費、スマホの通信料、仕送りとか、こういうのを全部合わせると1ヶ月に157,500円ってところかな。

私の手取りは180,000円くらいだから、残るお金は22,500円。

ただ、この他にもシャンプーとか石けん、トイレトーパー、ティッシュ、食器を洗うときに使う洗剤とか洗濯するときに使う洗剤とか、生活に必要なものを買うとお金はもうほとんど残らないよね。

ちなみに、生活に必要なものはダイソーで買うことが多いよ。

給料以外に、夏と冬にはそれぞれ1.5ヶ月分（345,000円くらい）のボーナスが出るんだよね。ボーナスのおかげで少しだけ余裕をもった生活ができるのにありがたい。けど、ボーナスはもらえない年もあるから、私はできるだけボーナスは大事に貯金するようにしてる。

■日本における金銭感覚

日本では、お金の使い方とか考え方が他の国と少し違うことがあるんだよね。これを「金銭感覚」って言うんだけど。金銭感覚っていうのは、お金に対する考え方とか使い方のことね。最後に、日本人の一般的な金銭感覚について話すね。

まず、日本人は給料をもらったら、生活に必要なものにお金を使って、それ以外はできるだけ貯金する人が多いよね。貯金っていうのは、将来のためにお金を貯めておくことね。日本だと、将来に備えて少しでもお金を残しておこうって考える人がめちゃくちゃ多いみたい。

あと、日本では物を大切に使う文化があるよね。たとえば、新しいものを買う前に、今持っているものをできるだけ長く使おうとする人が多いね。これって、無駄なお金を使わないようにしてる人が多いってことだよな、きっと。

日本ではお金を借りることをあまり良いこととは考えない人が多いんだよね。たとえば、クレジットカードで買い物をするときとか、借金をするんじゃなくて、できるだけその場でお金を払うほうがいいって思う人が多い感じ。借金っていうのは、あとで返さないといけないお金を借りることじゃん。

私も、給料をもらったらまず必要なものにお金を使って、余ったお金はできるだけ貯金するようにしてる。で、買い物をするときには、本当に必要なものだけを買うようにしてるし

ね。でも、これって、たぶん私だけじゃなくて多くの日本人が持っている金銭感覚なんだよね。

こんな感じで、日本で生活するためには、日本人の金銭感覚を理解しておくといいかもね。

「私の給料」は、いかがでしたか？
今後の動画制作に活かしますので、感想を是非コメント欄から教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

